



駒本の力

駒本小学校（家）

教育活動紹介便り

NO. 34

平成28年11月1日

駒本フェスティバル・駒本コンサート

校長 田中 克昌

本年度から「秋は駒本フェスティバル！」と銘打ち、秋季大運動会、PTAの駒本のまつり、そして、学習発表会としての駒本フェスティバル・駒本コンサートと3つのフェスティバルを2学期に実施しています。

今まで、駒本小では学芸会と展覧会を隔年で実施していましたが、これからの子どもたちに真に必要な思考力・判断力・表現力、そして、問題解決能力の育成のために、毎年、学習発表会を行うことにいたしました。駒本フェスティバルでは、学年やクラスを2チームに分け、国語や生活科、総合的な学習の時間に学習してきたことをさらに発展させ、他の学年の児童や保護者の皆さんに発表することで、「どの子も伸ばす、駒本の教育」の実現をねらっています。それぞれの学年やクラスの発表では、舞台発表とせず、各教室で参観者との双方向型の発表を行います。二日間で合計5回の発表を全員が行います。自分たちが学習したことを、誰に、どんな目的で発表するかという意識をしっかりともち、様々な工夫した発表方法で発表を行い、参観者の児童や保護者の皆さんから、質問や意見を受け、対話を通して学習を深めていきます。

次期学習指導要領では、学び方としてアクティブラーニングという学習の方法が重視され、「主体的・対話的で深い学び」となる学習形態への改善が進められています。まさしく、本校が今年度から行うこの学習発表会は、その「主体的・対話的で深い学び」を実現していくための具体的な姿です。

また、駒本コンサートでは、年間を通して音楽の授業の中で学習してきた楽曲を発展させ、合唱や合奏という形で発表します。他の学年の児童や様々な保護者や地域の方に発表するという目的は、子どもたちの意欲や音楽的な表現力や技能を飛躍的に高めてくれます。駒本コンサートについては、駒本フェスティバルの後に体育館での舞台発表といたしました。学習発表会は駒本フェスティバル、駒本コンサートの2部構成になっています。詳しくは保護者通知やプログラムをご覧ください。

本校の子どもたちの学力状況は、基礎的な知識・理解・技能はある程度の水準を満たしていますが、思考力・判断力・思考力はまだまだ大きな課題を抱えています。そのため、できあがった素晴らしい発表とはなかなかいかないかもしれませんが、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」のために、ご参観、ご参加、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

保護者や地域の皆様には、25日（金）、26日（土）と両日共に、ご参観いただけるようにしておりますので、よろしくお願いいたします。

夢先生から学ぶ！夢をもち努力することの大切さ 田村副校長

サッカー協会主催「こころのプロジェクト」の一環として、オリンピックの大菅小百合さんが、5年生の授業に派遣されました。ソルトレイクシティとトリノオリンピックにスピードスケートの日本代表として出場、その間のアテネオリンピックでは、自転車競技の日本代表にも選ばれて出場した方です。

大菅さんの素敵な「夢を語る授業」のお話を紹介します。大菅さんは、3歳から始めたスケートの他に、空手・そろばん・習字・ピアノなどの習い事をし、中学生の時は、ソフトボール部とスケート部の2つの部活に入っていたそうです。いろいろな道に進む可能性があったようですが、高校に入った時に、スケート一つに絞り込み、練習を始めました。17歳の時に、長野オリンピックの応援に行き、スピードスケートで金メダルを取った清水宏保さんに感動し、自分もスケートを頑張ろうと思ったそうです。お話の中で印象に残ったのは、頑張るためにはやはり努力が必要だということです。「人が休んでいる時がチャンス」と思い、他の人がリラックしてテレビを見ているような時間に、走ったり縄跳びをしたりしてトレーニングを続けたということでした。見えぬ所での努力、そしてそれを継続することが夢をかなえることにつながるのだと思いました。

高校3年の時、全国大会で1位になり、小さい頃からの「学校の先生になりたい」という夢を方向転換させたそうです。その後大学に行くことを止めて実業団に入り、本格的にオリンピックへの道を歩んだということです。

大菅さんは、お話の途中で、子どもたちに「得意な事・好きな事」や「将来〇〇になって、〇〇がしたい。」ということを書かせていました。オリンピックに出場したアスリートのお話を聞き、自分を振り返り将来の夢を見直す、良い機会になったのではないのでしょうか。

また、5時間めの体育館での授業では、アシスタントの方が鬼ごっこをしながら、授業をしてくださいました。アシスタントの方はダッシュ力があり、走るのが速い方で、子どもたちはすぐにその方の魅力に引き込まれていました。鬼に捕まらないように、クラス全員で作戦を立てたり、協力し合ったりすることで、5年生の子どもたちは多くのことを学んだようです。

